

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	文化会館活性化事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課(室)		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	昭和	57年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと				
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進		終期	未定	
基本事業	2	文化芸術活動の拠点施設等の充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び鳴門市を訪れる全ての人々						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	1918年6月1日、板東俘虜収容所において、ドイツ兵捕虜が日本で初めて「第九」交響曲を演奏したことを記念し、昭和57年から市民による「第九」の演奏会が続けられている。今後、国内外に誇る「なんと第九」のブランド力をさらに高め、市内外へ周知・啓発を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		「第九」演奏会来場者数	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	第31回「第九」演奏会と翌日に大塚国際美術館のシスティーナホールで「ミュージアムコンサート」を開催。重点雇用分野創出事業を活用し、「第九」担い手育成事業をNPO法人鳴門「第九」を歌う会に委託し日本語の第九発表演奏会など「第九」アジア初演の地をPRした。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「第九」演奏会 中高校生の出演者	26	26	17	20	23	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		「第九」演奏会来場者数	1,300	1,300	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		1,800	1,800	7,113	2,115	2,115	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	1,350	5,313	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,800	450	1,800	2,115	2,115	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,361	6,721	6,721	6,721	6,721	人
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	
	臨時職員等(2,023千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		5,161	8,521	13,834	8,836	8,836	千円

【事務事業名:文化会館活性化事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	第32回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会、大塚国際美術館で「第3回美術館でなるとの第九」開催された。市内小・中学校に「第九」初演DVDを配布するとともに、「歎びの木」を植樹した。幼・小・中学校からモデル校(園)を選定し、第九合唱の指導及び「第九」アジア初演の歴史等を指導する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	2018年に「第九」アジア初演100周年を迎えることからこれを起爆剤に「なると第九」をブランド化し全国的に情報発信するため「第九」アジア初演ブランド化を進める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月末定 ▼			
	どのように改革するのか	「第九」アジア初演ブランド化プロジェクトを計画中であり、庁内はもとより、学校や民間事業者等と幅広く協働する予定。			